



令和新时代

# 詠で辿る地域包括ケア

いまここで

三十一文字で辿る縁

老いも若きも

わがまち思ひ

地域包括ケアとは？

「誰も」が住み慣れた地域や家庭で自分らしい暮らしをいつまでも続けることができるように、「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「住まい」の5つに関する機関や体制が繋がり、地域の特性やニーズに応じながら必要となるサービスを「誰」隔てなく提供していく社会のしくみです。

「あなたには」どんな繋がりがありますか

新元号の基となった万葉集は貴族も庶民も老いも若きも等しく楽しんだ歌集。

限られた文字数で気持ちを表すのは現代でいうところの「眩き」

短歌を詠うように、気軽にあなたの周りの縁(繋がり)を考えてみませんか。

# 「ミソヒトモジ」にこめる思い

ふるさとに  
育てられた  
恩返し  
思い出すのは  
あのアロエの葉



職業 医師 [A病院]

ケガをしたり火傷をしたりしたとき、幼少の思い出に残るのは誰ともなく教えてくれた知恵袋。私も「いつも寄り添っているよ」ということを伝えていきたい。

実親と  
比べるもなく  
交わす顔  
身を案ずるも  
ぎし・のなせるわざ



職業 放射線検査技師 [B病院]

何度も通われる患者さんに、自分の親以上の心配りをしてしまいます。技師だけに義子のような気持ちになっちゃいますね(笑)

帰り道  
近所と交わす  
挨拶で  
あらためて知る  
日頃のあなたを



職業 介護士 [Cデイサービス]

Aさんのことを知っているつもりでしたが近所の人とのやりとりや地域の中でのAさんまで目を向けられていなかったです。居場所はやっぱり地域の中にあっただんですね。



## ミソヒトモジ プロジェクト

～人と人が繋がるミソは文字にあった!?～

に参加しませんか?

※このプロジェクトは短歌(五・七・五・七・七)で詠われる31文字を用いて、人と人との繋がりや地域の縁、支えあいや助け合いの輪を考えると「地域包括ケア」という言葉や仕組みを身近に感じてもらうという試みです。

みなさんの短歌を  
介護高齢課ホームページにて公開中!

## みんなのつぶやき板



「地域包括ケア」ってなんだか難しいけれど、「自分ごと」として考えたり「繋がり」を意識することがポイントなんじゃないかな。

認知症を理解してみようとか、ボランティアに参加するとか、子どもなら元気に挨拶するだとか。自分のためでもあるし、相手のことを思いやるということが「地域包括ケア」につながっているんだと思う。



そうだね。自分にできることや、やってみたいことは人それぞれ違うけど、互いに思いやることが大切なんだ。

発行・問い合わせ先

豊川市福祉部介護高齢課 ☎0533-89-3179

豊川市諏訪1丁目1番地

豊川市介護高齢課

検索

